

2017年度(平成29年度)

第1回びんご圏域活性化戦略会議 資料

2017年(平成29年)7月6日

びんご圏域ビジョン ロードマップ

体制構築

土台づくり

推進

検証・発展

2014年度 (平成26年度)	【備後圏域の更なる発展に向けた連携体制の構築】 <ul style="list-style-type: none">・総務省の新たな広域連携モデル構築事業に採択・連携中枢都市宣言, びんご圏域ビジョンの策定, 連携協約の締結
2015年度 (平成27年度)	【びんご圏域ビジョンの推進に向けた“土台づくり”】 <ul style="list-style-type: none">・経済発展に向けた圏域の産業構造の把握・圏域らしさを打ち出す糸口となる地域資源の掘り起こしと活用方法の検討・戦略会議の部会にワーキング会議を設置(産学金官民連携による事業の検討)・既存事業の圏域への拡大検討 等
2016年度 (平成28年度)	【びんご圏域ビジョンの“推進”】 <ul style="list-style-type: none">・地域資源(備後圏域らしさ)の魅力の磨き上げ、発信・圏域の発展を支える人材育成の充実・既存事業の効果的な再構築・再始動(事業効果検証の仕組み構築)・KPIの設定
2017年度 (平成29年度)	【びんご圏域ビジョンの“充実・発展”】 <ul style="list-style-type: none">・地域資源(備後圏域らしさ)の魅力向上につながる連携事業の実施・ビジョンの中間評価の実施による既存事業の効果・検証・再構築
2018年度 (平成30年度) ～ 2019年度 (平成31年度)	【再構築・実施】 <ul style="list-style-type: none">・連携事業の発展的実施・圏域拠点機能の強化・びんご圏域ビジョン(2020年度版)

備後圏域における社会動態

■各市町の人口

(出典) 総務省「平成22年国勢調査」「平成27年国勢調査」

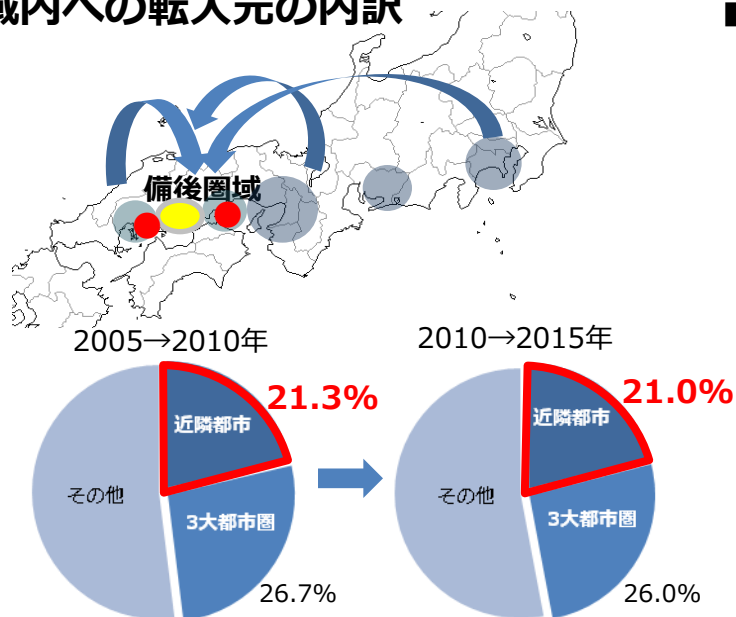
	2010年	2015年	増減
笠岡市	54,225人	50,568人	▲3,657人
井原市	43,927人	41,390人	▲2,537人
三原市	100,509人	96,194人	▲4,315人
尾道市	145,202人	138,626人	▲6,576人
福山市	461,357人	464,811人	+3,454人
府中市	42,563人	40,069人	▲2,494人
世羅町	17,549人	16,337人	▲1,212人
神石高原町	10,350人	9,217人	▲1,133人
合計	875,682人	857,212人	▲18,470人

Point

国勢調査における備後圏域の人口は、
2010年 875,682人から
2015年 857,212人へ
18,470人減少

※近隣都市：広島市，岡山市，倉敷市
 三大都市圏：東京圏（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）
 名古屋圏（岐阜県，愛知県，三重県）
 大阪圏（京都府，大阪府，兵庫県，奈良県）

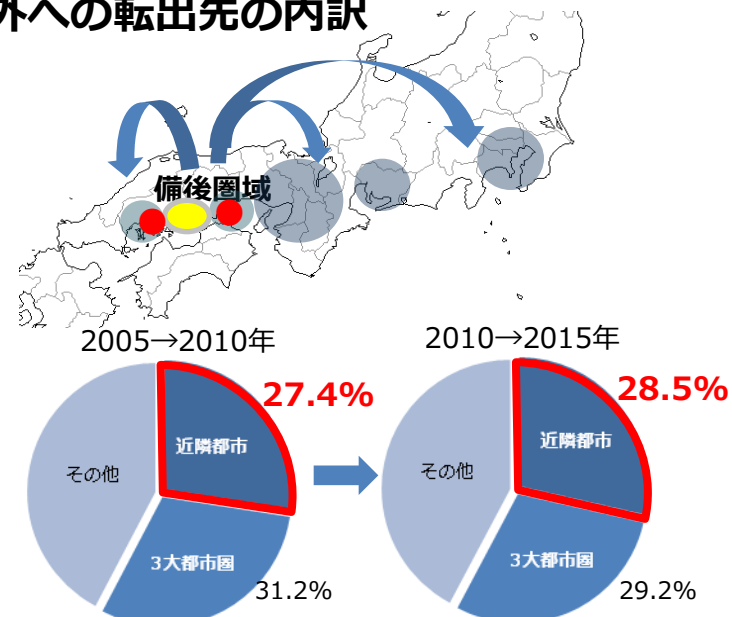
■圏域内への転入元の内訳



Point

転入の**約21%**が近隣都市から

■圏域外への転出先の内訳



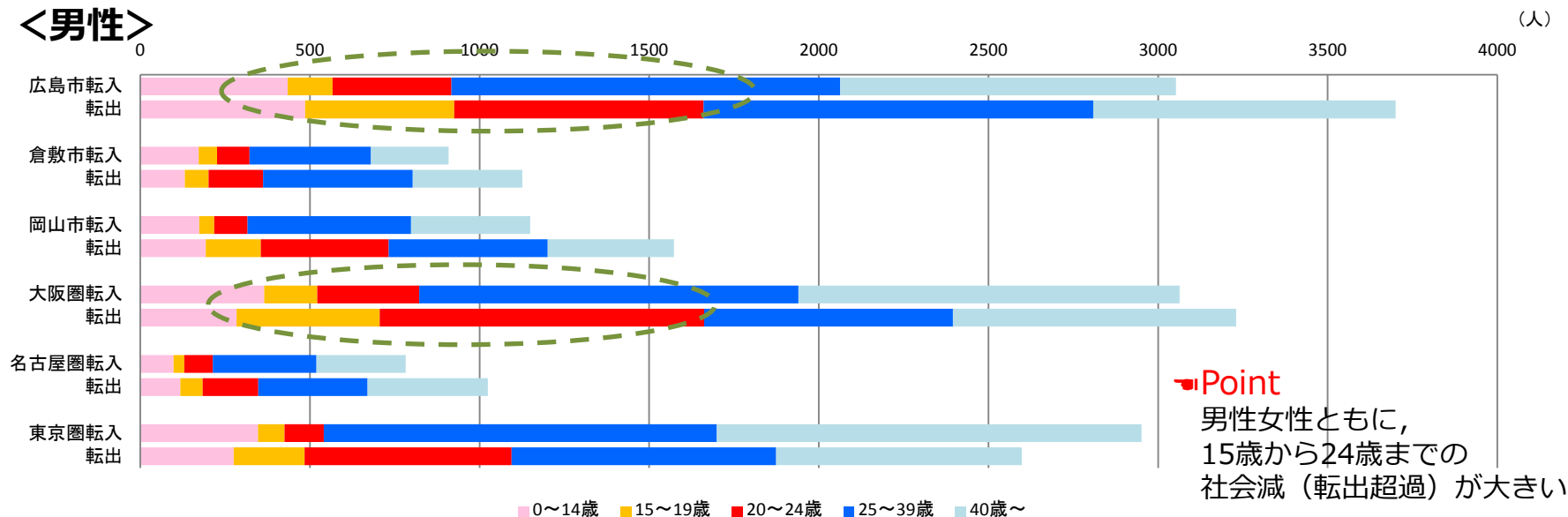
Point

転出の**約28%**が近隣都市へ

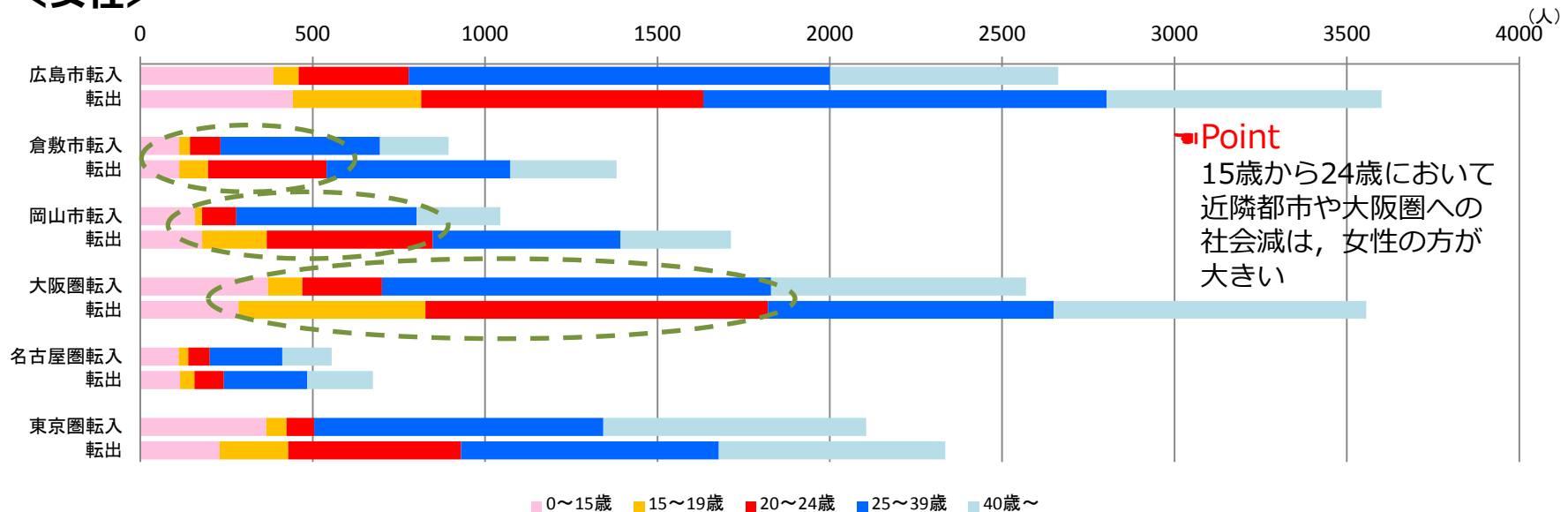
備後圏域における社会動態

■ 圏域の転出・転入（男女別）（2015年）

<男性>



<女性>



2015・2016年度における主な取組

びんご圏域ビジョンの推進に当たり、「圏域の発展を支える人づくり(備後の人財)」「圏域共通の地域資源の活用(備後らしさの発信)」「効率的な行政サービス」の3つの横断的な視点を持って取り組んでいる。

横断的 視点 分野	1 圏域の発展を支える 人づくり(備後の人財)	2 圏域共通の地域資源の 活用(備後らしさの発信)	3 多様な主体との連携による 効率的な行政サービス
経済成長の けん引 (産業)	<ul style="list-style-type: none"> ○経営の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・びんご産業支援コーディネーターの派遣 ○女性の活躍促進 <ul style="list-style-type: none"> ・女性再就職セミナー等の開催 ○ものづくり産業の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり大学の開講 ○自治体マネジメント力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・産業関連表を活用できる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○備後圏域デニムプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・デニム関連事業者と行政が連携したデニム産地のPR(デニムマップ, PR動画作成等) ○備後圏域ワインプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・産学金官連携によるワイン事業者の増加や備後産ワインのブランド化に向けた支援体制の構築(特区取得, ワインアカデミーの開催等) ○水産物ブランド化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマーク作成による情報発信の強化やアドバイザーによる支援(備後フィッシュのブランド化) ○広域観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の魅力をテーマごとに結びつけ, 多言語に対応したパンフレット, マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家によるビジネスコンサルティングを通じた売上向上・創業支援
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> ○医療スタッフの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員再就職支援セミナー等の開催 ○次世代の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材育成事業 	—	<ul style="list-style-type: none"> ○こども発達支援センターの共同運営 ○地域公共交通網形成計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・福山市及び笠岡市が連携して一つの計画を策定
住民 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成講座の開催 ・介護関連職員の各種研修の実施 ○子育て支援(発達支援)の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職員(保健師・保育士等)の合同研修の実施(ことばの相談室の活用) ○まちづくり人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・防災土養成講座の開催 ・地域おこし協力隊の広域連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅等のネットワーク化 <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリーの開催や新メニュー開発等 ○備後圏域PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ～BINGOフェスティバル～ ・備後圏域の特産品や活動等を圏域内外にPRするイベントの開催(住民の一体感の醸成) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・医介連携や金融機関との連携事業等を実施 ○高齢者・子どもの見守り体制の充実(市域を超えて) <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便株式会社との連携 ○移住促進 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の魅力・暮らしぶりを紹介する「びんごライフ」の作成 など